

神奈川県アレルギー疾患対策に係る平成30年度取組状況等

(1) 施策	(2) 平成30年度取組状況	(3) 平成29年度内容・実績	(4) 所管
1 (1) 啓発及び 知識の普及	<ul style="list-style-type: none"> ①ホームページによる情報提供 ②一般県民向け講演会の開催 (平成31年3月予定) ③アレルギーの知識及び管理方法を 周知するためのリーフレット作成 ④出前講座 	①ホームページによる情報提供	健康医療局
1 (2) アレルギー 等を軽減す るための 取組み	<p style="text-align: center;">食品対策</p> <p style="text-align: center;">加工食品のアレルゲン検査</p>	<p>乳の表示がない加工食品20品目中の乳アレルゲンの検査を実施した(品目は以下のとおり)。</p> <p>いずれも定量限界値1μg/g未満であり、乳アレルゲンは検出されなかった。</p> <p style="text-align: center;">＜各種加工食品＞</p> <p>菓子類7品目(カンパン、カステラ等)、容器包装詰加圧加熱殺菌食品5品目(カレー、ミートソース等)、清涼飲料水3品目(ジュース、豆乳飲料等)、そうざい2品目(シュウマイ等)、缶詰2品目(やきとり等)、その他の食品1品目(ドレッシング)</p>	健康医療局
	<p style="text-align: center;">花粉対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①県内スギ林の着花量調査を行い、結果を知事会見で発表(平成30年春のスギ花粉飛散量は多い、12/26) ②ヒノキの花粉飛散量の調査予測手法の検討 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ①スギ林の伐採・搬出・植栽等 1.83ha ②小花粉及び無花粉スギ、花粉の少ないヒノキの種子生産を実施 ③無花粉スギ・ヒノキについて学会発表(2件)、論文発表(1件) 県の無花粉スギ、ヒノキの花粉症対策の取組の講師派遣(横浜国立大学、環境団体等11件) 	環境農政局

(1) 施策	(2) 平成 30 年度取組状況	(3) 平成 29 年度内容・実績	(4) 所管
1 (2) アレルギー等を軽減するための取組み	<p style="text-align: center;">大気環境対策</p> <p>①自動車からの窒素酸化物及び粒子状物質の排出量算定調査及び交差点近傍における大気汚染状況の簡易測定</p> <p>②ディーゼル規制に係る検査・指導、制度周知等</p> <hr/> <p>①大気汚染物質を常時監視するため、大気汚染監視用機器及び大気環境測定局舎の更新、保守管理、修繕</p> <p>②微小粒子状物質等を常時監視するため、大気汚染監視用機器のリース設置</p> <p>③微小粒子状物質の発生源解析や生成機構の解明に向けて、成分分析の調査委託、分析機器のリース設置</p>	<p>①自動車からの窒素酸化物及び粒子状物質の排出量算定調査及び交差点近傍における大気汚染状況の簡易測定</p> <p>②ディーゼル規制に係る検査・指導、制度周知等</p> <hr/> <p>更新実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二酸化硫黄自動測定機 1 台 ・一酸化炭素自動測定機 1 台 ・浮遊粒子状物質自動測定機 1 台 ・風向風速計 2 台 ・大気環境測定局舎 1 基 ・炭化水素自動測定機 5 台 ・風向風速計 4 台 ・大気環境測定局舎 1 基 <p>保守管理、修繕を実施</p> <p>リース実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微小粒子状物質自動測定機 11 台 ・風向風速計 3 台 	環境農政局
1 (3) 生活スタイル改善のための取組	<p>①卒煙(禁煙)サポート</p> <p>②未成年者の喫煙防止対策</p> <p>③受動喫煙の防止</p>	<p>①卒煙サポートセミナー・連絡会 全5回 参加者 139 人</p> <p>かながわ卒煙塾 全3回</p> <p>各保健福祉事務所における相談、企業等での教室、関係者への研修</p> <p>②児童、中・高・大学生向けリーフレットの配布</p> <p>高校への禁煙教育の講師派遣</p> <p>③受動喫煙防止条例の周知徹底</p> <p>事業者戸別訪問 延べ7,722 施設</p> <p>県民向けイベント実施</p>	健康医療局
2 医療を提供する体制の整備	<p>①「神奈川県アレルギー疾患医療拠点病院」の選定</p> <p>②「神奈川県アレルギー疾患対策推進協議会」の設置及び開催</p>		健康医療局
3 (1) 患者に関わる者の人材育成	<p>①食物アレルギー・緊急時対応研修 (全3回)</p> <p>②アレルギー疾患対策に係る関係職員研修(全2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーの知識と災害時の備えと対応 	<p>①食物アレルギー・緊急時対応研修 全2回 参加者 395 人</p>	健康医療局

(1) 施策	(2) 平成 30 年度取組状況	(3) 平成 29 年度内容・実績	(4) 所管
3 (1) 患者に関わる者の人材育成	保育エキスパート等研修 食育・アレルギー対応研修 (研修全 8 分野のうちの 1 つ)	全 5 回 修了者 454 人	みらい局 子ども
	①食物アレルギー・緊急時対応研修 ②新採用学校栄養職員研修 ③学校栄養職員経験者研修	①対象：幼・小・中・高・中等・特別支援学校の教職員、学校保健関係者等 全 2 回 参加者 計 560 人 ②学校給食におけるアレルギー対応 全 1 回 参加者 13 人 ③食物アレルギーの対応について 全 1 回 参加者 66 人	教育局
	校内研修用エピソードトレーナー等貸出	貸出先数 102、貸出本数 1382 本	
	食物アレルギー・緊急時対応マニュアル作成	・県学校保健連合会と協力し、2017 年 10 月版として改訂し、2000 部作成 ・食物アレルギー・緊急時対応研修会、要望に基づき校内研修資料として配布	
ホームページ掲載	・学校における食物アレルギーへの対応ページに、「食物アレルギー・緊急時対応マニュアル」、 「アナフィラキシー個別対応マニュアル（標準例）改訂版」の掲載		
3 (3) 災害時の対応	(再掲) アレルギー疾患対策に係る関係職員研修(全 2 回) ・アレルギーの知識と災害時の備えと対応		健康医療局
その他		神奈川県アレルギー疾患対策推進計画の策定	健康医療局

(1) 施策	(2) 平成 30 年度取組状況	(3) 平成 29 年度内容・実績	(4) 所管
その他	アレルギー免疫療法の奏功性予測のための新規評価系の確立	<p>アレルギー免疫療法の奏功性予測のため、従来の EXiLE 法に治療奏効性と相関するバイオマーカーの測定も組み込んだ新たな評価系の構築を試みた。ラット好塩基球性マスト細胞株である RBL-2H3 細胞へのリポフェクション法を用いた遺伝子導入効率を検討し、最適条件を見出した。さらに目的遺伝子のタンパク発現効率を上昇させるために EF1 プロモーター発現ベクターへの導入が効果的であることを明らかにした。</p> <p><学会発表></p> <p>1 EXiLE 法を用いた経口免疫療法実施時における減感作状態の評価法の検討 (第 2 報) (第 66 回日本アレルギー学会学術大会(平成 29 年 6 月 16-18 日))</p> <p>1 経口免疫寛容誘導時における減感作状態の EXiLE 法を用いた評価 (日本薬学会第 138 年会(平成 30 年 3 月 25-28 日))</p>	健康医療局